

第5回地域審議会会議録

(双葉地区)

1. 日時

平成20年3月28日(金)

19:00～20:10

2. 場所

双葉ふれあい文化館 2階会議室

3. 会議次第

- (1) 開会
- (2) 会長あいさつ
- (3) 部長あいさつ
- (4) 審議事項
 - 1) 平成19年度主要事業等の執行経過報告
 - 2) 平成20年度主要事業等について
 - 3) その他
- (5) 閉会

4. 出欠席者

- (1) 出席委員[8名] ※委員名簿は別紙
- (2) 欠席委員[2名] 大澤委員、竹井委員
- (3) 事務局
伊藤企画部長、小澤企画課長
企画課総合政策担当・有泉リーダー、石合、宮川

5. 審議事項議録

- 1) 平成19年度主要事業等の執行経過報告について
- 2) 平成20年度主要事業について

[会長]

審議事項の(1)、(2)については関連があるため、一括説明していただきたいと思うがよろしいか。

(異議なし)

[事務局]

(資料を用いて説明)

[会長]

ご意見等があればお願いしたい。

[委員]

塩崎駅の件だが、3月中旬に地元説明会があったようだ。どんな話しだったのか、分かれば教えてほしい。

[企画部長]

計画図面を示しているようだが、説明会に企画は参加していないので、会議内容等詳しいことは都市計画課でないと分らない。

[委員]

どんなガイドラインか、広場や駐輪場などおおよそ分かっていたら教えてほしい。

[企画部長]

ボックスカルバートを入れ、アンダーガードを拡幅する計画だと思う。

地元の皆さんがどんな要望なのか、把握する必要がある。またJRとの協議もある。説明会等でご意見を伺いながら進めていくことになると思う。

[委員]

地域を集めるために、行政がある程度計画等を示してもよい。

[企画部長]

計画はかなり大きいものになっているが、地元のコンセンサスが一番大事。

[委員]

私の自宅が岩森で塩崎駅に近いが、内容についてぜんぜん知らない。広報等で周知してほしい。

[企画部長]

あまり大きい計画を市が示してしまうと、もう決まっていると思われてしまう。地域の考え方を聞いていかないといけない。20年度以降、地元説明会でつめていく。

[委員]

竜王駅が出来て、塩崎駅がほっとかれているような感情をもってはいけけないので、進めていただきたいと思う。

[企画部長]

市長は、塩崎駅の事業は、以前から重点プロジェクトとして実施していく考えだ。

[委員]

地元で意見があったので、企画で知っているのかと思って聞いた。

[企画部長]

3、4年前からいろいろ話しがある。旧町時代もアンケートを行っている。そのなかでは、車のすれ違いができ、駐輪場の屋根の整備等をしてほしいという意見が大半だった。

[会長]

その他にご意見は何かあるか。

[委員]

合併浄化槽の件だが、地区に一度説明会があり、当初下水道という話しが合併浄化槽に急に変わった。次は12月頃説明会を開催するということがあったが、未だ開催されていない。20年度以降どのようになるのか、地元はまったく分からない。

[企画部長]

敷島地区は、まとまって実施する方向に決まった。双葉は今から何回か説明していくと思う。合併浄化槽の設置や運営を市でやる。ある程度戸数がまとまれば実施していく。

[委員]

下水道は河川をまたぐとお金がかかるそうだ。合併浄化槽では、一戸あたり100万円とのことだ。合併浄化槽に変更となるのはよいが、当初平成17年度までに下水道ということだったが、平成19年度にいきなり合併浄化槽に変わった。それまでは下水道という話しだったのだから、2、3度地元の説明をしなければおかしい。

[企画部長]

下水道課に話しておく。

[委員]

上の段南原線は、競艇の渋滞を避けるため、今年開通するのか。

[企画部長]

用地交渉が難航しているが、担当が努力している。

[委員]

昨日たまたま、全部用地交渉が終了してから道をつくるべきとの意見を聞いた。

[会長]

その他ご意見は。

[委員]

敬老祝金で昨年100歳となった5人の地区はどこか。素晴らしいので参考に教えてほしい。

[企画部長]

分かったら報告する。

[会長]

私たちの長寿者クラブは40～50人くらい加入している。

[委員]

自主的に参加しないと意味がない。

指定管理は20年度、21年度の予定はあるのか。

[企画部長]

指定管理の対象となり得る施設は89ほどある。指定管理にむく施設とむかない施設がある。

住民サービス向上、経費削減のため粛々と実施していきたい。

[委員]

指定管理の件でお聞きしたい。今まで働いていた方はそのまま働いているのか。

[企画部長]

今まで働いていた人達を優先してほしい旨は伝えている。

三分の二は、そのまま引き続き働いている。

3) その他

(特になし)